

ふじのみや探検

第11号 道祖神のひみつ



発行：富士宮市立中央図書館 〒418-0067 静岡県富士宮市宮町13-1 TEL:0544-26-5062 FAX:0544-26-1284

ひみつ1 石で作られたものは、何があるの？

あなたの足元にある石、神田川や白尾山にある石、そのままでは、自然の石ですが、それをひろってけずり、字を書いたり、仏様をほったりすると、石造物になります。わたしたちのまわりにはたくさんの石造物があります。

浅間大社に行ってみましょう。参道を歩いていくと両側に石灯ろう、少し行くと狛犬がいます。石の鳥居をくぐりかいだんを上がると左手に手水舎があります。楼門を抜け本殿におまいりしたあと、右手の階段を下り湧玉池をすぎると駿州赤心隊の碑、その前には村山道への道しるべがあります。大社を10分歩いただけでこんなに石造物がありました。

つぎに東町の東大頂寺に行ってみましょう。六地藏・角田桜岳の碑・題目とう・お稲荷さん、おっと忘れるところでした、ごせんぞ様のお墓も石でできていますね。

そのほか道路のわきには、甲子さん・庚申とう・道祖神などが立っています。

今日はこれらの中で、道祖神について考えて見ましょう。

◇ことばの説明

○参道・・・神社やお寺におまいりするときに通る道。

○手水舎・・・おまいりする人が、手や口をひしゃくですすぎ身をきよめるところ。

○題目とう・・・南無妙法蓮華経とほられた石のとう。甲子さん・庚申とうも、字がほられている石のとう。



狛犬



六地藏



題目とう

ひみつ2 道祖神って何？

あなたの町内の道ばたに二人の神さまがよりそって
いる石像せきぞうや道祖神どうそじんとほられている石がありますか？
「あった！」

そう、それが道祖神です。道祖神は名前のおり道
ばたの神さまです。道路が交差こうさするところなどに立っ
ていて町内にわざわい（病気や悪い人）が入ってこな
いように守っています。幸せが入ってくるのは、大か
んげいします。

富士宮市では、398き基、道祖神があります。多い
でしょう。となりの富士市や三島市とくらべても一番
です。でも、まだ発見されていない道祖神があるかも
しれません。今でも新しく作られる道祖神もあります。
それだけわたしたちのご先祖は、道祖神に「幸しあわせに
なれるように」とお祈りをしたのでしょ。あなたが
調べると、まだ、見つからない道祖神が発見でき
るかもしれません。

そうそう、道祖神は、子どもが大好きな神さまです。
子どもを守ってくれる神さまでもあります。もし、道
祖神の前を通ったらおまいりして、やさしくさわって
ください。

あなたの願いを聞いてくれるかもしれませんよ。

◇ことばの説明

- 石像・・・石をのみでけずり、男女のかみさまをつ
くると道祖神になる。
- 交差・・・道路が交わるところ。町内のはずれにた
てられた道祖神は町内の守り神。
- 398基・・・道祖神は一基、2基と数えます。



双体道祖神（元城町）

ひみつ3 なぜ道祖神が作られたの？

あなたのご先祖は、お寺や神社に行ってお参りをし、
お願いをしました。でも、もっと身近になやみを聞いて
くれる神様があつたらいいなと思いました。田や畑
に行くとき、ちょっととなり町に友だちに会いに行く
とき、道ばたになやみを聞いてくれる神様がほしいな
と思いました。そこで、みんなでお金を出し合って、
道祖神を作りました。ですから道祖神はそんなに大き
くはありません。大人が2、3人でかたんに持ち運
べます。石でできています。家の近くにあります。

あなたのご先祖は、道祖神にお願いをしました。「む
すめにいいご縁えんがありますように」「お米がたくさん
取れますように」「雨をふらしてください」「病気がな
おりますように」「家族が笑い合っあってくらせませうよう
に」道祖神はこれらの願いをかなえてくれる幸しあわせの神
なのです。

町内で道祖神を作るには、石工いしくをたのみました。
信州しんしゅう（長野県）の高遠たかとうからきた石工もいます。何日
もかかってできた道祖神を町内のみんなが、大切に守
ってきました。江戸時代のころのお話です。

◇ことばの説明

- 石工・・・石は、じょうぶで長持ちします。でも、
かたいので、けずりにくい。その石をけずり道祖
神を作ったりする人。



双体道祖神（杉田）

ひみつ4 どんど焼きと道祖神は、関係があるの？

あります。どんど焼きは、1月14日（小正月）の行事です。空き地などにやぐらをくみ、正月かざり・しめなわ・書き初めなどをつんで燃やします。お正月の火祭り行事です。

どんど焼きの火にあたり、3本やりの先に付けたもちを焼いて食べたりすると1年間、かぜを引かないといわれています。

あれ？道祖神が出てこないね。実は、このどんど焼きの火の中に道祖神を入れる町内があります。

もともと、どんど焼きは、道祖神のある場所でおこなわれました。1年間、町内をわざわざいから守り続け、道祖神も少しつかれてしまいました。これを火の持つ神聖な力で再生し、元気な道祖神になってくださいとお祈りするのでしょうか。でも、まいとし、火に入られると黒くなったり、欠けたりするので、今は、道祖神のかわりに石を入れているそうです。

夏に道祖神のお祭りをする町内もあります。夏につかれて病気になるまいと、かがり火をたいたいりして、お参りをするそうです。

◇ことばの説明

- 小正月・・・正月15日の行事。この日の朝、あずきがゆを食べた。
- 再生・・・ふたたび生き返ること。ふたたび生かすこと。



どんど焼き

まめ知識 どんな道祖神があるの？

大きく、2つに分かれます。1つは、**双体道祖神**で、もう1つは、**文字道祖神**です。2人の神さまが仲よく1つの石の中にほられているのが双体道祖神です。富士宮市には217基あります。石に、道祖神と字がほられているのが文字道祖神です。148基あります。どちらの道祖神も江戸時代に作られました。

では、どちらの道祖神が先に作られたのでしょうか？ほるのがかんたんな文字道祖神でしょうか？ふつう、そう考えますね。でも本当は、双体道祖神が先に作られています。

江戸時代の中ごろ、天明のききんがありました。ふるさとで生活できなくなった信州・高遠の石工たちも富士宮にきて、双体道祖神をほりました。きっと、食べていくのに必死だったのでしょうか。逆にいうと、あなたのご先祖は、こまった高遠の人を助けるだけのゆとりがあったのでしょうか。

このあと、江戸時代の終わりごろになると、文字道祖神がふえていきます。そのわけは、よく分かりません。あなたが、調べて、なぞがとけるとすばらしいですね。

◇ことばの説明

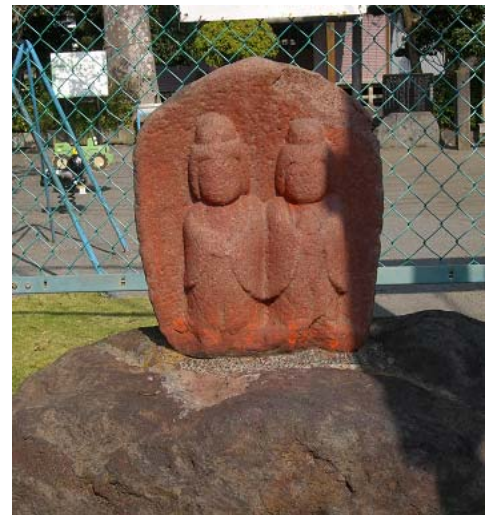
- 双体道祖神・・・男と女の神さまが、ほられている。お父さんとお母さんが助け合い、みんなが、幸せになりますようにとの願いがわかります。
- 天明のききん・・・江戸時代最大のききん。冷害や浅間山のふん火で米が取れなくなったりして、100万人ぐらいの人がなくなった。



双体道祖神（杉田）



文字道祖神（中央図書館）



双体道祖神（赤くぬられている）



文字道祖神（富士重本舗）



双体道祖神（男神が左）

◇『第11・道祖神のひみつ』は、次の資料をもとに作りました。

- 1 『富士宮の道祖神 改訂版』 富士宮市教育委員会／フジ印刷 2013
- 2 『富士宮の道祖神』 遠藤秀男／緑星社 1981
- 3 『芝川の石造物 神々の舞』 芝川町教育委員会／黒船印刷 1977
- 4 『富士山麓石造物総集』 富士宮北高郷土研究部／緑星社 1968
- 5 『富士山双体道祖神マップ』 戸川浩／緑星社 1996
- 6 『道祖神のふるさと』 伊藤堅吉／大和書房 1987
- 7 『風狂問わず語り』 小山益次／静岡新聞社 1982
- 8 『御殿場の道祖神』 御殿場市文化財調査委員会／日興印刷 1960
- 9 『富士山麓の道祖神』 吉川静雄／耕文社 1983
- 10 『歩く博物館ガイドブック』 富士宮市教育委員会／三扇印刷 2009

